

施策	1101 環境の保全							
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正		
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有		
対象	市民、職員							
施策が目指す姿	自然環境の保全、衛生環境の改善、河川環境の整備・管理、ごみの不法投棄の防止等を進める。							
成果指標	ごみの不法投棄量 5年間(H25～29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25～29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)							
目 標 達 成 状 況		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
	成果指標1 [m3]	予定	49.00	87.00	85.00	82.00	80.00	
		実績	52.00	51.63				
	成果指標2 []	予定	12,795.00	16,830.00	16,660.00	16,490.00	16,320.00	
		実績	17,671.00	16,410.00				
		単位コスト	107.69	111.71				
	成果指標3 []	予定						
		実績						
		単位コスト						
	成果指標4 []	予定						
実績								
単位コスト								
トータルコスト (千円)	予定	2,141,704	1,769,167	0	0	0		
	実績	1,903,069	1,833,097			0		
内 部 評 価	貢献度	環境保全施策に対する市民満足度に対し、一般市民に直結するごみ収集や公害対策、不法投棄の施策は大きく貢献する。						
	達成状況	単位施策目標に貢献度の高いと思われる環境美化対策事業や不法投棄監視事業が未達であったため単位施策目標が未達となっている。						
	課題	達成度が100に満たない事業については市民への施策の周知を含め事業推進が必要。						
	取組方針	現状に合わせて目標値の設定や事業内容などを柔軟に対応しながら環境の保全に取り組む。市民の環境保全事業参加が増加するよう広報、ホームページ等で周知に努める。						
外 部 評 価	不法投棄に対処するため、監視カメラの設置を望む。また、設置後の適切な管理も必要。あわせて、不法投棄に対する市民への啓発、周知を徹底してほしい。一つの手法として、ゴミの多い地域を色分けして地図に表し、市民に対し注意喚起をするなど工夫して対処してはどうか。また、合併前の旧栃木市において行われていた「家庭でできる環境対策」を、新栃木市においても実施に向けた検討をお願いする。最後に、成果指標が一般市民に分かりにくいと思われることから、次回設定の際には、分かりやすい具体的な目標を設定すべきである。							
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度	
	150101	環境課一般経常事務費				6,879	100	
	150401	エネルギー使用量管理業務委託費				2,484	100	
	152401	公害対策費(栃木)				14,477	100	
	152405	公害対策費(西方)				1,128	100	
	152801	陸砂利採石監視事業費				2,912	100	
	155202	環境美化対策事業費(大平)				3,746	100	
	155205	環境美化対策事業費(西方)				1,962	100	
	155206	環境美化対策事業費(岩舟)				2,394	100	
	155503	ごみ委託収集事業費(藤岡)				69,050	100	
155504	ごみ委託収集事業費(都賀)				31,457	100		

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040103	予算事業コード	150101	事業区分	01	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	環境課一般経常事務費										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 環境課 環境政策担当 環境政策チーム					担当者	関口聡子					従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	45,000 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 環境審議会に関する事務 環境啓発に関する事務(親と子の水辺教室、出前講座等) 市民の生活環境の指導及び改善に関する事務 一般経常事務に関する事務 【主要事業(エコオフィス推進事業)】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 課内業務の円滑な執行と事務効率の改善を行い、温室効果ガスの排出を削減するとともに、市民の生活環境の保全及び改善を推進する。					
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)															

単位：千円、人		平成25年度決算額	平成26年度決算見込	事業の内容		事業の内容						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成25年度		平成26年度					
	県支出金	0	0		【事業の内容】 環境意識の啓発や生活環境の保全及び改善を行う。エコオフィス推進実行計画を推進した。 ・エコ推進員の設置・研修会の開催	【事業の内容】 環境意識の啓発や生活環境の保全及び改善を行う。エコオフィス推進実行計画を推進した。 ・エコ推進員の設置・研修会の開催						
	地方債	0	0									
	その他特財	480	1,684		・温室効果ガス排出量調査 ・緑のカーテンの設置 ・夏季、冬季節電対策 ・電気使用量監視システムの運用 ・環境基本計画の推進・普及啓発	・温室効果ガス排出量調査 ・緑のカーテンの普及啓発 ・電気使用量監視システムの運用 ・環境基本計画の推進・普及啓発						
	一般財源	3,952	5,195									
	事業費 a	4,432	6,879		【成果】 出前講座イベント参加者数 383人	【成果】 出前講座イベント参加者数 867人						
	人件費 b	6,000	0									
減価償却費 c		0										
総事業費 a+b+c	10,432	6,879	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	383.00	867.00	出前講座・イベント参加者数	出前講座・イベント参加者数 平成26年度目標値50人	人		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	12,276.00	16,410.00	市有施設温室効果ガス排出量	温室効果ガス排出量 [t-co2] 平成26年度目標値12,150t-co2								

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 環境啓発事業(親と子の水辺教室や出前講座、イベントへの参加等)を積極的に行い、市民の環境意識の啓発に貢献した。 エコオフィス推進実行計画を推進し温室効果ガス削減のための事業を実施した。 今後さらに推進する。											
--------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155201	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	環境美化対策事業費（栃木）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全		
担当部課 係・担当チーム名	生活環境部 環境課 環境保全担当 環境美化チーム					担当者	岩川 成生		従								
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	8,787 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する業務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・美化キャンペーンの実施(本庁) ・栃木県清掃事業連絡協議会に関する事務 【主要事業】								達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのないきれいで住みよいまちづくりを目指す。							
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)															

単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込												
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	平成25年度					平成26年度					
	県支出金	0	0	【事業内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・環境美化キャンペーン (本庁のみ実施事業H25藤岡地域)					【事業内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施した。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・環境美化キャンペーン (本庁実施事業H26西方地域)					
	地方債	0	0	【成果】 ・看板貸出枚数98枚、 ・美化キャンペーン(藤岡)参加人数130名					【成果】 ・看板貸出枚数80枚 ・美化キャンペーン(西方)参加人数150名					
	その他特財	145	170											
	一般財源	338	512											
	事業費 a	483	682											
	人件費 b	7,500	3,000											
減価償却費 c		0												
総事業費 a+b+c	7,983	3,682	指標名		算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1	98.00	80.00	環境美化に関する看板貸出枚数	栃木地域の環境美化に関する看板貸出枚数		平成26年度目標値50枚	枚		妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2	130.00	150.00	環境美化活動参加者数	美化キャンペーン等の参加者数		平成26年度目標値200人	人							

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)														
	市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進し、環境美化啓発を図り ゴミのないきれいで住みよいまちづくりを実施した。 各地区において実施しているため、イベントとしての美化キャンペーンの参加人数は目標に達しなかったが地 域の美化活動は数値の把握は難しいが、全市民が行動をしていると考えられる。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155202	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策							
事業名	環境美化対策事業費（大平）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全						
担当部課 係・担当チーム名	大平総合支 大平生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム						担当者	飯塚 奈津子				従									
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例								事業期間	H15 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	8,539	千円				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・クリーン大平の実施(大平地域) 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 市民、事業者、所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちをつくる。									
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																			

単位：千円、人		平成25年度決算額	平成26年度決算見込	平成 25 年度		平成 26 年度												
事業費・指標の推移	事業費	国庫支出金	0	0	【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・クリーン大平の実施(大平地域) ・健康野菜作り(大平地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。		【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・クリーン大平の実施(大平地域) ・健康野菜作り(大平地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。											
		県支出金	0	0														
		地方債	0	0														
		その他特財	0	0														
		一般財源	496	746														
		事業費 a	496	746														
		人件費 b	3,000	3,000														
減価償却費 c		0																
総事業費 a+b+c	3,496	3,746																
結果指標 1	14.00	15.00	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価		妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地				
結果指標 2	6,865.00	8,321.00	環境美化活動に関する看板貸出枚数	大平地域の環境美化に関する看板貸出枚数		H26目標値15枚	枚	妥当	無	適正	有効	無	有					
			美化活動参加者数	クリーン大平参加者数		H26目標値7,320人	人											

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域清掃活動が引き続き活発に行われるよう啓発する。 今後ますます増加が見込まれる空き地の苦情に適切に対応する。															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考																
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155203	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	環境美化対策事業費（藤岡）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全	
担当部課 係・担当チーム名	藤岡総合支 藤岡生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム						担当者	田中 正和				従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等				事業期間	H16 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	2,600		千円			
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施(藤岡地域) ・渡良瀬遊水地官民共同美化活動の実施 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのない美しいまちづくりを目指す。								
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)														
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込		平成25年度						平成26年度						
事業費・指標の推移	国庫支出金	0		【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する						【事業の内容】 環境美化活動の推進、環境美化意識の啓発						
	県支出金	0		・美化啓発用看板貸出						・環境美化啓発用看板の作製、設置						
	地方債	0		・地域清掃活動への支援						・ゴミゼロ運動の実施、地域清掃活動への支援						
	その他特財	0		・空き地の苦情相談						・渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施、清掃活動等の支援						
	一般財源	176	216		・渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施(藤岡地域)						【成果】 環境美化活動の推進が図られた。また、環境美化への意識向上が図られた。					
	事業費 a	176	216		【成果】 事業実施に伴い、環境美化の推進が図られた											
	人件費 b	1,125		1,875		事業の内容 その成果										
減価償却費 c			0		指標名						算出方法					
総事業費 a+b+c	1,301	2,091		環境美化に関する看板貸出枚数						藤岡地域の環境美化に関する看板貸出枚数 H26目標値40枚						
結果指標 1	38.00	12.00		美化活動参加者数						渡良瀬遊水地クリーン作戦の実施 H26目標値600人						
結果指標 2	613.00	544.00		単 位						単 位						
事業の事後評価	妥当性	妥当		コスト削減の余地						無						
	受益者負担	適正		上位貢献度						有効						
事業の事後評価	類似事業の有無	無		成果向上の余地						有						
	妥当	無														
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 地域清掃活動等については、ごみ袋の提供、クリーンプラザへの運搬等の支援を積極的に行う。															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155204	事業区分	02	政策的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策			単位施策						
事業名	環境美化対策事業費（都賀）										主	1101	豊かな自然環境の保全			環境の保全					
担当部課 係・担当チーム名	都賀総合支 都賀生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	鈴木 健司			従											
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	2,509 千円					
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・ごみゼロの日清掃活動の実施 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちづくりをめざす。									
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																			
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込																			
事業費・指標の推移	国庫支出金		0	0																	
	県支出金		0	0																	
	地方債		0	0																	
	その他特財		0	0																	
	一般財源		163																		
	事業費 a		163																		
	人件費 b		750		750																
減価償却費 c				0																	
総事業費 a+b+c		913		750																	
結果指標 1		13.00		13.00	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地					
結果指標 2		1,832.00		1,918.00	環境美化に関する看板貸出枚数	都賀地域の環境美化に関する看板設置・貸出枚数 H26目標数値：15枚			枚												
					美化活動参加者数	ごみゼロの日清掃活動参加者数 H26目標数値2,000人			人												
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 環境美化に関する看板等を作成し、それを貸し出すことにより、環境美化に関する意識の向上を図る。 美化キャンペーン等を行い、環境美化意識を向上させる。																				
事後評価備考																					

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155205	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	環境美化対策事業費（西方）										主	1101	豊かな自然環境の保全		環境の保全	
担当部課 係・担当チーム名	西方総合支 西方生環課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム					担当者	寺内 史幸		従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例							事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	1,308 千円	
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どうする方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みやすいまちにする条例の運用に関する業務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・その他地域の環境美化推進に関する事務 ・「美しいまちづくりの日」一斉活動の実施(西方地域) 【主要事業】							達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 市民・事業者・所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみのない美しいまちづくりを目指す。							
	成果目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)														
単位：千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込		平成25年度				平成26年度								
事業費・指標の推移	国庫支出金		0		【事業の内容】 ・環境美化活動(美化啓発用看板貸出、地域清掃活動への支援、空き地の苦情相談、「美しいまちづくりの日」一斉清掃)の推進に必要な施策を実施する。 【成果】 ・市民の苦情に対して適切に対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。				【事業の内容】 ・環境美化活動(美化啓発用看板貸出、地域清掃活動への支援、空き地の苦情相談、「美しいまちづくりの日」一斉清掃)の推進に必要な施策を実施する。 【成果】 ・市民の苦情に対して適切に対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。							
	県支出金		0													
	地方債		0													
	その他特財		0													
	一般財源		52		52		87									
	事業費 a		52		52		87									
	人件費 b		2,250		2,250		1,875									
減価償却費 c						0										
総事業費 a+b+c		2,302		2,302		1,962	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
結果指標 1		1,600.00		2,857.00	各地域における美化活動参加者数	美しいまちづくりの日一斉清掃参加人数	H26目標値	2,000人	人	妥当	無	適正	有効	無	無	
結果指標 2		13.00		15.00	環境美化に関する看板貸出枚数	西方地域の環境美化に関する看板貸出枚数	H26目標値	15枚	枚							
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 「美しいまちづくりの日」一斉清掃の実施(年2回(6月、11月))及び美化キャンペーン等を行い、環境美化意識を向上させる。 また、環境美化に関する看板等を作成し、それを貸し出すことにより、環境美化に関する意識の向上を図る。															
事後評価備考																

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 26 年度

会計	一般	款項目	040201	予算事業コード	155206	事業区分	02	政策的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策										
事業名	環境美化対策事業費(岩舟)										主	1101	豊かな自然環境の保全	環境の保全										
担当部課 係・担当チーム名	岩舟総合支 岩舟生活課 生活環境交通担当 生活環境交通チーム						担当者	荻原 知巳		従	1101	豊かな自然環境の保全	環境の保全											
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	栃木市をきれいで住みよいまちにする条例							事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	984	千円								
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)までに、誰(何)を、どう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) ・栃木市をきれいで住みよいまちにする条例の運用に関する事務 ・美化啓発用看板設置等環境美化に関する作業 ・地域清掃活動への支援 ・美化キャンペーンの実施(岩舟地域) 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成31年度)の目標) 市民、事業者、所有者等及び市が相互に協力し、一体となって環境美化活動等を推進するとともに、環境美化意識の啓発を図り、ごみの無い美しいまちをつくる。																
	成果策目標	ごみの不法投棄量 5年間(H25~29)で80m3へ削減(現状値90m3) 市有施設温室効果ガス排出量5年間(H25~29)で16,320t-co2へ削減(単位t-co2)(現状値17,000t-co2)																						
単位:千円、人	平成25年度決算額	平成26年度決算見込											平成25年度		平成26年度									
事業費・指標の推移	国庫支出金			事業の内容 その成果										【事業の内容】 環境美化の推進に必要な施策を実施する。 ・美化啓発用看板貸出 ・地域清掃活動への支援 ・空き地の苦情相談 ・美化キャンペーンの実施(岩舟地域) ・健康野菜作り講座(岩舟地域) 【成果】 ・市民の苦情に対して適切な対応が図れた。 ・市民が地域清掃活動に参加し、環境美化への意識が高まった。										
	県支出金																							
	地方債																							
	その他特財																							
	一般財源		144																					
	事業費 a		144																					
	人件費 b		2,250																					
減価償却費 c																								
総事業費 a+b+c		2,394	指標名	算出方法		単位	事業の事後評価 <table border="1"> <tr> <td>妥当性</td> <td>コスト削減の余地</td> <td>受益者負担</td> <td>上位貢献度</td> <td>類似事業の有無</td> <td>成果向上の余地</td> </tr> <tr> <td>妥当</td> <td>無</td> <td>適正</td> <td>有効</td> <td>無</td> <td>有</td> </tr> </table>						妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地	妥当	無	適正	有効	無	有
妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地																			
妥当	無	適正	有効	無	有																			
結果指標 1		28.00	環境美化に関する看板貸出枚数	岩舟地域の環境美化に関する看板貸出枚数 H26目標値:15枚		枚																		
結果指標 2		4,400.00	環境美化活動参加者数	美化キャンペーン等の参加者数 H26目標値:4,000人		人																		
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) ・地域清掃活動が引き続き活発に行われるよう啓発する。 ・今後ますます増加が見込まれる空き地の苦情に適切に対応する。																							
事後評価備考																								